



**(社)日本品質管理学会  
医療の質・安全部会 第4回総会  
2008年11月8日(於:東京工業大学)**

**部会長 棟近雅彦(早稲田大学)**  
**副部会長 永井庸次(水戸総合病院)**  
**副部会長 水流聡子(東京大学)**



## 活動経過：総会

### □第1回総会

- 2005年12月10日 於：日科技連

### □第2回総会

- 2006年10月28日 於：筑波大学(年次大会)

### □第3回総会

- 2007年10月27日 於：名古屋工業大学(年次大会)

### □第4回総会

- 2008年11月 8日 於：東京工業大学(年次大会)



## 活動経過：役員と部会員数

### □役員

- 部会長：棟近雅彦
- 副部会長：永井庸次，水流聡子
- 幹事：池田俊也，末安いずみ，福丸典芳
- 会計担当：加藤信子，吉村昌美

### □部会員数

- 発足時：約100名
- 2006年8月末：約190名
- 2007年7月末：約220名
- 2008年8月末：約220名（目標300名）



# 活動経過：PCAPSシンポジウム

## □ PCAPS最終成果シンポジウム

- 2007年3月8日 於：東京大学

### 1.PCAPSに組み込まれた医療の質安全保証のための思想

－質安全保証を目指す標準診療設計と質中心経営－

### 2.可視化・構造化・標準化・電子化のための方法論とシステム設計

### 3.PCAPS電子コンテンツ開発報告

### 4.PCAPSのIT環境

### 5.PCAPS統合化システム

- ・ PCAPSビルダー
- ・ PCAPSアドミニストレーター
- ・ PCAPSアナライザー

### 6.フロアーとの全体質疑

### 7.総括・謝辞



# 活動経過：医療QMSシンポジウム

「医療における質中心経営管理システムー導入・推進中の病院からのメッセージ」

- 2008年3月9日 於：東京大学

- (1) QMS-H研究会の目的とシンポジウムの主旨説明 東京大学大学院教授 飯塚悦功
- (2) 医療QMSモデルとQMS導入・推進フェーズ 早稲田大学教授 棟近雅彦
- (3) QMSキックオフまでの経緯とキックオフ 前橋赤十字病院院長 宮崎瑞穂
- (4) QMSキックオフとその後の推進 大久野病院院長 進藤晃
- (5) ポスターセッション
- (6) 診療業務の可視化・標準化(PFC(プロセスフローチャート)の意義)
  - ・ 飯塚病院における診療業務PFCの作成とその標準化活動 麻生飯塚病院脳神経外科部長 名取良弘
  - ・ 基準PFCによる診療業務の標準化・構造化 東京大学大学院 下野僚子
- (7) QMS運用上の問題点とQMS再構築 日立製作所水戸総合病院副院長 吉井慎一
- (8) 各病院のQMS導入・推進活動のまとめ 早稲田大学助手 金子雅明
- (9) パネルディスカッション 「医療QMSの導入・推進における課題」
  - ・ パネルリーダー：飯塚悦功
  - ・ パネル：各病院長，推進責任者，産業界アドバイザー
- (10) シンポジウムのまとめと閉会挨拶 棟近雅彦



# 活動経過：PCAPS中間成果報告シンポジウム

## □ PCAPS中間成果報告シンポジウム

- 2008年9月27日 於：早稲田大学

- (1) 開会の挨拶
- (2) PCAPS研究会活動状況報告
  - PCAPS-Admi-Liteの新バージョンの紹介
- (3) PCAPSコンテンツ整備班による口頭発表セッション
- (4) ポスターセッション
- (5) PCAPSによる臨床実態調査の可能性～川崎病コンテンツから～
- (6) PCAPS連携セッション
  - PCAPS地域連携モデル(前立腺肥大症, 糖尿病, COPDにおけるモデルと今後の展開)
- (7) 総合質疑・討論
- (8) シンポジウム総括



# 活動経過：医療QMS研究会

## □ 研究目的

- 医療機関におけるQMSの形態がいかにあるべきか，導入・推進をどのように行えばよいかを明らかにする。

## □ 参加資格

- (社)日本品質管理学会 医療の質・安全部会の部会員

## □ 会合実績(全体会合)

第1回	2007/3/15	第10回	2008/1/19
第2回	2007/4/28	第11回	2008/2/2
第3回	2007/5/19	第12回	2008/3/23
第4回	2007/6/30	第13回	2008/4/26
第5回	2007/7/21	第14回	2008/6/21
第6回	2007/9/22	第15回	2008/7/12
第7回	2007/10/6	第16回	2008/8/2
第8回	2007/12/1	第17回	2008/9/20
第9回	2007/12/22	第18回	2008/10/17



## 活動経過：医療QMS研究会

### □ WG1：ISO9001の医療分野での解釈

### □ アウトプット

- ①規格要求事項7.1(製品実現の計画), 7.3(設計・開発), 7.5(製造及びサービスの提供)の対象・捉え方
- ②規格要求事項7.5.4(顧客の所有物), 7.5.5(製品の保存)の対象・捉え方
- ③-1規格要求事項8.2.3(プロセスの監視及び測定), 8.2.4(製品の監視及び測定), 8.3(不適合製品の管理)の対象・捉え方
- ③-2規格要求事項8.2.3, 8.2.4を8.5.2(是正処置), 8.5.3(予防処置)とどう関連付けるか

### □ 成果発表

- 「医療の質向上のためのISO9001の解釈と適用の研究」, JSQC第86回研究発表会, 2008/5





# 活動経過：医療QMS研究会

## □ WG2：内部監査

### □ アウトプット

- プロセス監査(プロセスに沿った監査)の  
チェックリスト
  - ・ 対象プロセス：外来/入院診療，医療安全
- インシデント監査(インシデントを起点とした監査)の  
視点，および構成要素
  - ・ 構成要素：管理規定，計画書，チェックリスト，不適合指摘書，  
是正処置報告書，結果報告書，最終報告書

### □ 成果発表

- 「医療機関における内部監査方法に関する研究」， JSQC第86  
回研究発表会， 2008/5
- 「医療機関における内部監査の方法に関する研究(第二報)」  
， JSQC第38回年次大会， 2008/11



## 活動経過：医療QMS研究会

### □WG3：管理指標

### □アウトプット

- 入院注射(輸血除く)プロセス・検体検査プロセスにおける管理指標

### □成果発表

- 「医療の質改善に結び付く管理指標導出方法に関する研究」, JSQC第86回研究発表会, 2008/5



# 今後の計画：医療QMS研究会

## □全体会合

- 第19回 2009/1/22
- 第20回 2009/2/21
- 第21回 2009/3/13

## □最終成果発表

- 2009/5, JSQC研究発表会
- 品質誌への研究会報告の掲載



# 会計報告(決算)

## 収支計算書

平成19年10月1日から平成20年9月30日

医療の質・安全部会会計 (単位 円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
I. 収入の部				
1. 事業収入	2,000,000	152,000	1,848,000	
(1)基礎講座収入	1,500,000	0	1,500,000	
(2)シンポジウム収入	500,000	152,000	348,000	
2. 部会費収入	380,000	1,000,000	△ 620,000	
(1)部会費収入	380,000	1,000,000	△ 620,000	
当期収入合計	2,380,000	1,152,000	1,228,000	
前期繰越収支差額	1,365,245	140,583	1,224,662	
収入合計	3,745,245	1,292,583	2,452,662	

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
II. 支出の部				
1. 事業費	1,500,000	243,000	1,257,000	
(1)基礎講座支出	800,000	0	800,000	
(2)シンポジウム支出	700,000	243,000	457,000	
2. 管理費	600,000	321,634	278,366	
(1)会合費	100,000	48,928	51,072	
(2)旅費交通費	100,000	252,760	△ 152,760	
(3)通信費	80,000	11,826	68,174	
(4)印刷費	10,000	3,920	6,080	
(5)備品・消耗品費	310,000	4,200	305,800	
3. 予備費	100,000	0	100,000	
(1)予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計	2,100,000	564,634	1,535,366	
当期収支差額	280,000	587,366	△ 307,366	
次期繰越収支差額	1,645,245	727,949	917,296	



# 会計報告(予算)

## 収支予算書

平成20年10月1日から平成21年9月30日

医療の質・安全部会会計

(単位 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I. 収入の部				
1. 事業収入	1,000,000	2,000,000		
(1)基礎講座収入	500,000	1,500,000		
(2)シンポジウム収入	500,000	500,000		
2. 部会費収入	428,000	380,000	48,000	
(2)部会費収入	428,000	380,000	48,000	
当期収入合計	1,428,000	2,380,000	△ 952,000	
前期繰越収支差額	600,000	1,365,245	△ 765,245	
収入合計	2,028,000	3,745,245	△ 1,717,245	

(単位 円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II. 支出の部				
1. 事業費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
(1)基礎講座支出	500,000	800,000	300,000	
(2)シンポジウム支出	500,000	700,000	△ 200,000	
2. 管理費	390,000	600,000	△ 210,000	
(1)会合費	50,000	100,000	△ 50,000	
(2)旅費交通費	200,000	100,000	△ 100,000	
(3)通信費	20,000	80,000	△ 60,000	
(4)印刷費	20,000	10,000	10,000	
(5)備品・消耗品費	100,000	310,000	△ 210,000	
3. 予備費	100,000	100,000	0	
(1)予備費	100,000	100,000	0	
当期支出合計	1,490,000	2,100,000	△ 610,000	
当期収支差額	△ 62,000	280,000	△ 218,000	
次期繰越収支差額	538,000	1,645,245	△ 1,116,245	



# 中期計画(35～37年度)

現状の姿	・ 部会員150名	・ シンポジウム年2回開催 ・ 5月研究発表会で部会セッション開催 ・ 医療の質マネジメント基礎講座の開催 ・ 関連雑誌での広報
重点化すべき課題	・ 医療QMSの開発 ・ 患者状態適応型パスシステムの開発 ・ 上記アウトプットに関連するセミナーの確立	・ 医療の質マネジメント基礎講座の確立
3年後の姿	<b>成果目標</b> ・ 部会員300名(×) ・ 医療のQMSの提示(△) ・ 患者状態適応型パスシステムと医療QMSの連携(△) ・ 上記アウトプットに関連するセミナーの開発(×) ・ 医療QMS研究会からのアウトプットの発信(07/7追加)(○)	<b>システム／プロセス／整備目標</b> ・ シンポジウム年2回開催の定常化(△) ・ 研究発表会での部会セッションの定常化(○) ・ 医療の質マネジメント基礎講座の確立(×) ・ 医療QMS研究会の活動活性化(07/7追加)(○)



## 中期計画(35~37年度)総括

- 研究活動は順調に進んでいるが，教育・啓蒙が不十分である．そのために部会員増加も進んでいない．
- 研究成果の公開を順次進めていき，それを利用して部会員の増加を図る．基礎講座も早期に復活を図る．



# 中期計画(38～40年度)

<b>現状の姿</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・部会員220名</li><li>・医療QMSとPCAPSについて研究が進行中</li><li>・医療QMS研究会の成果がまもなくまとまる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・シンポジウムは年1回開催</li><li>・基礎講座が中断状態</li></ul>
<b>重点化すべき課題</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・部会員300名</li><li>・新たな研究会の立ち上げと成果の発信</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・シンポジウム年1回開催の定常化</li><li>・医療の質マネジメント基礎講座の確立</li><li>・新規研究会の立ち上げ</li></ul>
<b>3年後の姿</b>	<b>成果目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・部会員300名</li><li>・医療のQMSに関するテキストの出版</li><li>・医療QMS, 患者状態適応型パスシステム(PCAPS)に関連するセミナーの開発</li><li>・新たな研究会の立ち上げと成果の発信</li><li>・現医療QMS研究会の成果報告を品質誌に掲載</li></ul>	<b>システム／プロセス／整備目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・シンポジウム年1回開催の定常化</li><li>・研究発表会での部会セッションの定常化</li><li>・医療の質マネジメント基礎講座の確立</li><li>・新規研究会の立ち上げ</li><li>・PCAPSと医療QMSの連携</li></ul>





## 中期計画(38～40年度)

アクションプラン	38年度	39年度	40年度
部会員増加施策	医療関係雑誌への広報 病院長等を通じたの勧誘	医療関係雑誌への広報 病院長等を通じたの勧誘	医療関係雑誌への広報 病院長等を通じたの勧誘
医療QMSの開発	QMS-H研究会との連携	QMS-H研究会との連携	QMS-H研究会との連携
患者状態適応型パスシステムの開発	PCAPS研究プロジェクトとの連携	PCAPS研究プロジェクトとの連携	PCAPS研究プロジェクトとの連携
セミナーの開発	基礎講座の反省と企画 を幹事会で実施	基礎講座の実施	基礎講座, QMS・PCAPS セミナーの企画を幹事 会で実施
研究会とシンポジウムの開催	QMS研究会のまとめ シンポジウムの開催	新規研究会の立ち上げ シンポジウムの開催	新規研究会の継続 シンポジウムの開催



## 部会の意義

### □ 医学・工学の連携

- 「医学系と工学系の実務家，研究者が，共同で医療の質・安全に関する課題に取り組むことは大変有意義である」
- 製造業，一部のサービス業が中心であった適用領域の拡大

### □ 医療の質・安全を主要な研究領域とし，医学系，工学系が融合する場を提供する

- 医療の質マネジメントに関する課題は山積
- 医療者と質マネジメントの専門家が議論する
- より多くの質マネジメント推進経験者に流入してもらおう
- 医療者は専門領域を越えた自由な議論を行う



## 活動計画

### □ 研究テーマ

- PCAPS
- 医療の質マネジメントシステム

### □ シンポジウム

- 2009年3月7日(土), 8日(日)
- 「医療における臨床知識・技術と質マネジメントの融合」
  - ・ 知識構造化手法PCAPSの可能性をさぐる(7日)
  - ・ ここまできた質中心経営管理システム(8日)



## 活動計画

### □研究発表

- 2009年5月 JSQC研究発表会
  - ・ QMS研究会成果発表
  - ・ 各WGが最終成果の報告
- 品質誌への最終報告書の掲載

### □新規研究会の立ち上げ

- 2009/4以降

### □医療のための質マネジメント基礎講座

- 2009/4～
- 再構成して充実した内容に



## 活動計画

### □ 広報と部会員増強

- 目標：第40年度部会員数300名
- 医療関係学会，雑誌，医療機関等への広報
- 医療関連学会との連携事業，共同研究
- ホームページの充実